

ヘダイ亜科とマダイ亜科の魚は臼歯を持ちますが、臼歯の列がヘダイ亜科では3列、マダイ亜科は2列です。この臼歯で貝やフジツボなどの固い殻を持つ動物を噛み砕いて餌にします。マダイ亜科は沖合いに生息しますが、ヘダイ亜科は内湾や河口域、沿岸の比較的浅い所に生息します。

1ページの写真で体の側面に多数の縦じまがあるのが分かります。これはヘダイの大きな特徴です。また、



2004年4月20日衣ヶ島周辺で採集したヘダイ。標準体長約3cm。

他のタイの仲間に比べて吻が丸いのも特徴です。上の写真ではまだ縦じまがはっきりしませんが、吻が丸いのが分かります。また、腹鰭と臀鰭がわずかに黄色をおびています。

2004年4月からの引き網による調査で、衣ヶ島の周辺にヘダイの若い個体が多数生息していることが分かりました。今後、成長したヘダイがどこ移動するのかを調べる必要があります。

2004年9月1日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせはFAX 088-844-8310（町田研究室直通）をお願いします。